



2025年2月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年1月10日

上場会社名 株式会社コメダホールディングス 上場取引所 東 名
 コード番号 3543 URL <http://www.komeda-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 甘利 祐一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 清水 宏樹 TEL 052-936-8880
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年2月期第3四半期の連結業績（2024年3月1日～2024年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	34,665	7.9	6,698	1.2	6,498	△1.5	4,428	△1.5	4,428	△1.4	4,545	1.0
2024年2月期第3四半期	32,120	16.6	6,619	13.9	6,599	13.1	4,494	13.1	4,492	13.6	4,501	13.1

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
2025年2月期第3四半期	97	19	97	15
2024年2月期第3四半期	97	83	97	76

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%	
2025年2月期第3四半期	102,730	44,248	44,248	44,248	44,248	43.1	43.1	
2024年2月期	102,772	43,110	43,110	43,110	43,110	41.9	41.9	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2024年2月期	—	26.00	—	27.00	53.00
2025年2月期	—	27.00	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	—	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	45,465	5.2	9,350	7.3	9,285	6.9	6,330	6.0	6,330	6.0	138.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) KOMEDA INTERNATIONAL HOLDINGS PTE. LTD.

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年2月期3Q	46,260,900株	2024年2月期	46,235,400株
② 期末自己株式数	2025年2月期3Q	774,455株	2024年2月期	410,859株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年2月期3Q	45,565,324株	2024年2月期3Q	45,916,215株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2025年1月10日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書	5
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	5
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	6
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	8
(売上収益)	8
(1株当たり利益)	8

1. 経営成績の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く外食産業は、賃上げやインバウンド需要の拡大により個人消費は堅調に推移し、緩やかな回復傾向が継続しております。一方で、日米の金融政策や為替の動向、地政学リスクによる原材料価格やエネルギーコスト高騰の継続、人財採用難による働き手不足や人件費の上昇、お客様のライフスタイルや価値観の変化など、極めて先行き不透明な事業環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画「VALUES 2025」に掲げる『“くつろぎ”で、人と地域と社会をつなぐ』をスローガンに、既存モデルの拡充、新しい共創価値の追求、財務価値の維持拡大に取り組んでまいりました。

店舗においては、原材料価格やエネルギーコストの高騰に加え、人件費の上昇の影響を受けて、4月から店頭メニュー価格の値上げを実施しました。FC加盟店に対する卸売価格は8月末まで据え置いておりましたが9月より値上げを実施しました。一方で、店舗での値上げに対して、デザートセットを今までよりもお求めやすい価格にするとともに、一部の店舗においては改装を実施し、より一層くつろいでいただける空間づくりに取り組むなど、お客様の店舗体験価値向上を図るべくQSC向上施策に努めてまいりました。また、販売施策としては、前年同期に実施したコメダグループ1,000店舗を記念した「1000キューキャンペーン」に対して、当期においてはコメダ珈琲店で使用できるお得な前売り回数券『コーヒーチケット』を、通常の9枚綴りと同じ価格で11枚綴りとして販売したほか、前回発売時に人気を博した「コメ牛」を複製発売するとともに、株式会社グレーストーン様の東京土産の定番として幅広いお客様に愛される東京ばな奈とコラボレーションした「東京ばな奈 シロノワール」を発売し、多くのお客様にご来店いただきました。

これらの取り組みにより、当第3四半期連結累計期間におけるFC加盟店向け卸売の既存店売上高前年比は103.5%、全店売上高前年比は109.5%となりました。

コメダ珈琲店については国内を中心に新規に39店舗を出店し、おかげ庵について1店舗出店、La Vinotherapieを1店舗出店、新業態としてジェリコ堂を1店舗出店したほか、11月1日より事業を取得した「ハンバーガー&サンドイッチ ベイス」を含めて、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は1,061店舗となりました。

区分	エリア	前連結会計 年度末	新規出店	閉店	当第3四半期 連結会計期間末
コメダ珈琲店	東日本	331 (14)	13 (1)	— (—)	344 (13)
	中京	304 (3)	5 (—)	1 (—)	308 (2)
	西日本	330 (9)	15 (—)	1 (—)	344 (8)
	海外	39 (13)	6 (2)	3 (1)	42 (16)
おかげ庵	全国	13 (6)	1 (1)	— (—)	14 (6)
BAKERY ADEMOK KOMEDA is □ 大館吉日 La Vinotherapie ジェリコ堂 ベイス	—	6 (6)	3 (2)	— (—)	9 (8)
合計		1,023 (51)	43 (6)	5 (1)	1,061 (53)

(注) 1. () 内の数字は直営店舗数であり、内数で記載しております。

2. コメダ珈琲店の東日本エリアにおいて直営店2店舗、中京エリアにおいて直営店1店舗、西日本エリアにおいて直営店1店舗、おかげ庵について直営店1店舗をFC化しております。また、コメダ珈琲店の海外においてFC店2店舗を直営化しております。

以上の取り組みの結果、売上収益は34,665百万円（前年同期比7.9%増）となりました。一方、コーヒー豆など主要な原材料価格高騰の影響を受けて営業利益は6,698百万円（前年同期比1.2%増）、税引前四半期利益は6,498百万円（前年同期比1.5%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は4,428百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

なお、当社グループは、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献するため、優先的に取り組むべき重要課題（マテリアリティ）を「品質とお客様」、「人と働きがい」、「環境」の3つのテーマに分類し、この分類ごとに当社グループが経済価値の向上と社会課題の解決に貢献すべく、取り組みを実施しております。詳細につきましては、当社ホームページをご参照ください。

- ・ <https://komeda-holdings.co.jp/materiality/>
- ・ <https://komedacomestruue.komeda.co.jp/action/>

(2) 当四半期の財政状態の概況

① 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び資本の状況は次のとおりです。

流動資産は、その他の金融資産の減少等により前連結会計年度末に比べ679百万円減少し、18,734百万円となりました。非流動資産は、営業債権及びその他の債権の増加等により前連結会計年度末に比べ637百万円増加し、83,996百万円となりました。その結果、資産は、前連結会計年度末に比べ42百万円減少し、102,730百万円となりました。

また、流動負債は、未払法人所得税の減少等により前連結会計年度末に比べ597百万円減少し、12,961百万円となりました。非流動負債は、借入金の減少等により前連結会計年度末に比べ583百万円減少し、45,521百万円となりました。その結果、負債は、前連結会計年度末と比べ1,180百万円減少し、58,482百万円となりました。

資本は、前連結会計年度末に比べ1,138百万円増加し、44,248百万円となりました。これは主に、四半期利益を4,428百万円計上した一方で、剰余金の配当2,465百万円を実施したこと、自己株式1,001百万円を取得したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,861百万円増加し、9,784百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による収入は6,631百万円（前年同期比1,060百万円減）となりました。これは主に税引前四半期利益6,498百万円（前年同期比101百万円減）を計上したこと、営業債権及びその他の債権の増加額1,668百万円（前年同期比572百万円増）、法人所得税等の支払額2,742百万円（前年同期比501百万円増）によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による収入は3,009百万円（前年同期は733百万円の支出）となりました。これは主に定期預金の減少額4,000百万円（前年同期比3,800百万円増）、有形固定資産の取得による支出747百万円（前年同期比139百万円減）によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による支出は7,887百万円（前年同期比130百万円増）となりました。これは主に借入金の返済による支出1,525百万円（前年同期比65百万円増）及びリース負債の返済による支出2,968百万円（前年同期比159百万円増）、自己株式の取得による支出1,000百万円（前年同期比0百万円増）、親会社の所有者への配当金の支払額2,411百万円（前年同期比73百万円増）によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の連結業績予想について、2024年4月10日に公表した通期連結業績予想からの変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	7,923	9,784
営業債権及びその他の債権	6,054	7,755
その他の金融資産	4,133	138
棚卸資産	373	448
その他の流動資産	930	609
流動資産合計	19,413	18,734
非流動資産		
有形固定資産	12,880	12,977
のれん	38,354	38,354
その他の無形資産	357	525
営業債権及びその他の債権	27,636	27,982
その他の金融資産	3,417	3,499
繰延税金資産	265	142
その他の非流動資産	450	517
非流動資産合計	83,359	83,996
資産合計	102,772	102,730
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	2,218	2,484
借入金	2,032	2,025
リース負債	3,895	3,913
未払法人所得税	1,621	761
その他の金融負債	2,618	2,773
その他の流動負債	1,174	1,005
流動負債合計	13,558	12,961
非流動負債		
借入金	9,112	7,594
リース負債	29,438	30,218
その他の金融負債	6,709	6,797
引当金	359	357
その他の非流動負債	486	555
非流動負債合計	46,104	45,521
負債合計	59,662	58,482
資本		
資本金	659	669
資本剰余金	13,042	13,043
利益剰余金	30,476	32,439
自己株式	△1,071	△2,024
その他の資本の構成要素	4	121
親会社の所有者に帰属する持分合計	43,110	44,248
資本合計	43,110	44,248
負債及び資本合計	102,772	102,730

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
売上収益	32,120	34,665
売上原価	△21,181	△22,887
売上総利益	10,939	11,778
その他の営業収益	142	92
販売費及び一般管理費	△4,421	△5,161
その他の営業費用	△41	△11
営業利益	6,619	6,698
金融収益	41	23
金融費用	△61	△223
税引前四半期利益	6,599	6,498
法人所得税費用	△2,105	△2,070
四半期利益	4,494	4,428
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	4,492	4,428
非支配持分	2	—
四半期利益	4,494	4,428
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	97.83	97.19
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	97.76	97.15

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
四半期利益	4,494	4,428
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	7	117
税引後その他の包括利益	7	117
四半期包括利益	4,501	4,545
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	4,496	4,545
非支配持分	5	—
四半期包括利益	4,501	4,545

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本 の構成要素	親会社の 所有者に帰属 する持分合計	非支配持分	資本合計
2023年3月1日残高	651	13,100	26,895	△109	6	40,543	76	40,619
四半期利益			4,492			4,492	2	4,494
その他の包括利益					4	4	3	7
四半期包括利益合計	—	—	4,492	—	4	4,496	5	4,501
新株予約権の行使	5	3				8		8
株式報酬取引		38				38		38
配当金			△2,391			△2,391		△2,391
自己株式の取得		9		△1,009		△1,000		△1,000
自己株式の処分		△47		47		—		—
非支配持分の取得		△79				△79	△81	△160
所有者との取引額合計	5	△76	△2,391	△962	—	△3,424	△81	△3,505
2023年11月30日残高	656	13,024	28,996	△1,071	10	41,615	—	41,615

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本 の構成要素	親会社の 所有者に帰属 する持分合計	資本合計
2024年3月1日残高	659	13,042	30,476	△1,071	4	43,110	43,110
四半期利益			4,428			4,428	4,428
その他の包括利益					117	117	117
四半期包括利益合計	—	—	4,428	—	117	4,545	4,545
新株予約権の行使	10	8				18	18
株式報酬取引		41				41	41
配当金			△2,465			△2,465	△2,465
自己株式の取得		4		△1,005		△1,001	△1,001
自己株式の処分		△52		52		—	—
所有者との取引額合計	10	1	△2,465	△953	—	△3,407	△3,407
2024年11月30日残高	669	13,043	32,439	△2,024	121	44,248	44,248

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	6,599	6,498
減価償却費及び償却費	1,198	1,144
金融収益	△41	△23
金融費用	61	223
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△1,096	△1,668
差入保証金及び建設協力金の増減額 (△は増加)	△66	△96
営業債務の増減額 (△は減少)	310	270
預り保証金及び建設協力金の増減額 (△は減少)	100	59
その他の金融負債の増減額 (△は減少)	2,552	3,031
その他	△141	△524
小計	9,476	8,914
利息の受取額	1	30
利息の支払額	△32	△41
法人所得税等の支払額	△2,241	△2,742
法人所得税等の還付額	487	470
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,691	6,631
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減 (△は増加)	200	4,000
有形固定資産の取得による支出	△886	△747
無形資産の取得による支出	△75	△248
投資有価証券の取得による支出	△38	△13
その他	66	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△733	3,009
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の返済による支出	△1,460	△1,525
リース負債の返済による支出	△2,809	△2,968
株式の発行による収入	10	17
自己株式の取得による支出	△1,000	△1,000
親会社の所有者への配当金の支払額	△2,338	△2,411
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△160	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,757	△7,887
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	108
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△792	1,861
現金及び現金同等物の期首残高	6,681	7,923
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,889	9,784

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループが本要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

(セグメント情報)

当社グループは、喫茶店のFC事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(売上収益)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
卸売	23,141	25,683
直営店売上	4,216	3,789
店舗開発収入	834	1,006
その他	2,718	2,934
顧客との契約から認識した収益 計	30,909	33,412
リースに係る収益	1,211	1,253
その他の源泉から認識した収益 計	1,211	1,253
合計	32,120	34,665

(1株当たり利益)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
親会社の普通株主に帰属する四半期利益 (百万円)	4,492	4,428
発行済普通株式の期中加重平均普通株式数 (株)	45,916,215	45,565,324
希薄化効果のある株式数 ストック・オプション	33,940	18,243
希薄化効果調整後の期中加重平均普通株式数 (株)	45,950,155	45,583,567
基本的1株当たり四半期利益 (円)	97.83	97.19
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	97.76	97.15